

# 「読むこと」（説明的文章）学習指導案

## 第 1 学年国語科学習指導案

### 1 単元名 説得力のある根拠とは何か

「ニュースの見方を考えよう」（新しい国語 1 東京書籍）  
「自作広告」

### 2 単元について

「ニュースの見方を考えよう」は、筆者の記者・ジャーナリストとしての経歴に裏付けされた豊富な経験を基に、ニュースが制作者の意図やねらいをもって編集されたものであると述べ、ニュースを自分なりに判断することの重要性を説いている。教科書上ではメディアリテラシーを育むための教材として位置づけられているが、例と主張の関係や事実と意見の関係などの読む力を育むことにも適している教材である。教員が自ら制作した広告は、教科書で身につけた力を活用することや、学習と生活を繋ぐことをねらいとしている。本単元は、学習指導要領の〔思考力、判断力、表現力等〕の「C 読むこと」の指導事項「ア 文章の中心的部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。」及び、〔知識及び技能〕の「(2) ア 原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。」を元に指導を行っていく。本単元を指導するにあたり、生徒の多様な考えを表出させるために二項対立や疑問形の学習課題を設定する。また、生徒の読みや考えをより深いものにするために1時間の中で対話的活動を複数回組み込む。そして、読みの力を活用させ、生活の中で生きて働く力を育むため、生活に密着した題材である広告を教材として取り上げる。

### 3 単元の目標

- ・例と主張の関係や事実と意見の関係などに注意しながら読み、内容を理解することができる。 【知識及び技能】
- ・筆者の挙げた編集の例について批判的に読み、文章の述べ方や説得力のある根拠について評価することができる。 【思考力、判断力、表現力等】
- ・教科書で学んだ読みの力を活用し、説得力の観点から文章を読もうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】

### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・例と主張の関係や事実と意見の関係などに注意しながら読み、内容を理解している。(2) ア	・筆者の挙げた編集の例について批判的に読み、文章の述べ方や説得力のある根拠について評価している。C (1) ア	・教科書で学んだ読みの力を活用し、説得力の観点から文章を読もうとしている。

## 5 単元の学習指導計画（全4時間）

- (1) 「ニュースの見方を考えよう」を通読し、主張や論の展開を捉える。(習得) 1時間
- (2) 筆者の挙げた例や根拠を批判的に読み、説得力のある根拠について考える。(習得) 2時間
- (3) 広告に書かれた主張と根拠の関係から、より説得力のある広告を選ぶ。(活用) 1時間(本時)

## 6 本時の学習指導

### (1) 目標

- ・自作広告の文章を選ぶ活動を通して、広告に書かれた主張と根拠の関係に気づき、説得力のある文章の要素を理解することができる。

### (2) 学習指導過程

学習内容・学習活動	予想される生徒の反応	教師の支援
1 「ニュースの見方を考えよう」で学習したことを振り返る。 2 学習課題を確認する。	・説得力のある根拠について考えたな。	・説得力のある根拠とはどのようなものであったかを確認するよう助言し、整理する。
【学習課題】 どの広告なら、あなたは買うか。		
3 選んだ広告とその理由を考える。 (1) 個人で考える。 (2) 班で考える。 (3) 全体で考える。	・実体験をもとにしているの で説得力がある。 ・研究データをもとにしている ので説得力がある。 ・一人だけの意見だからあまり 説得力がない。 ・根拠が具体的に示されていない ので説得力がない。 ・表現にあいまいなところが あって説得力がない。	・これまでに習得した読みの 力を活用できている意見を 積極的に取り上げる。 ・考えるのが難しい生徒には 「ニュースの見方を考えよう」 で考えた説得力のある 根拠を参考にするよう助言 する。 ・それぞれの広告についての 意見を可視化するため、名 前磁石の使用や板書の工夫 を行う。
4 より説得力のある 広告にするために必 要な根拠を考える。	・複数人のアンケート結果な どがあるといいのではない かな。	・これまでの学習を踏まえて 考えるよう指示する。
5 本時の学習を振り 返る。	・言葉の選び方も大事だな。 ・これからも根拠に説得力が あるか注意して読みたい。	・活用した読みの力の価値づ けを行う。

### (3) 評価

- ・広告に書かれた主張と根拠の関係に気づき、説得力のある文章の要素を理解することができたか。(観察、ノート)